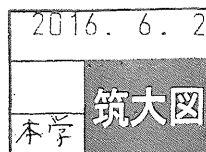


共生教育学研究

第5巻 2016年5月



目 次

〈研究論文〉

- 桜井 淳 平：2010 - 2014年間の世代間格差認識の変化…………… 1
— 「高齢者のほうが恵まれている」という認識の広がりには焦点を当てて—
- 江角 周 子：中学校でのピア・サポート実践におけるサポーターへの効果 (2)… 15
庄 司 一 子 —サポート概念の学習を通して—
- Tomochika
OKAMOTO : On Interpreting Society through Changing Texts …………… 27
- 新井 雅：共生社会および共生教育の展開における…………… 37
庄 司 一 子 心理学研究の貢献可能性の検討
- 内田 沙 希：中学生が学級に関して大事に考えている事柄の検討…………… 53
前田 基 成 —質問紙調査の分析を通じて—
-

筑波大学大学院人間総合科学研究科
ヒューマン・ケア科学専攻 共生教育学分野

編集委員

庄司一子 飯田浩之 岡本智周

『共生教育学研究』編集規程

1. 発行

『共生教育学研究』は、年1回発行する。

2. 投稿

- (1) 投稿資格は、人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野教員、人間総合科学研究科博士課程在学者、および分野教員が特に認める者とする。
- (2) 投稿原稿には、「研究論文」と「研究ノート」の2種類があり、単独執筆・共同執筆のいずれにおいても、図表を含めて和文400字詰原稿用紙50枚以内とする。ただし、欧文による原稿は、編集委員会が投稿要領を指定する。
- (3) 原稿は随時受け付ける。
- (4) 原稿は欧文の題目および300語程度の欧文アブストラクトとその和訳を付して、2部提出するものとする。英文アブストラクトについては校閲を行う。

3. 編集

- (1) 本誌の編集は、筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻共生教育学分野内にある編集委員会の責任のもと行う。編集委員会は、共生教育学分野教員によって構成する。編集委員会の委員長は教員の中から選出される。
- (2) 論文の査読・審査は編集委員があたる。
- (3) 編集委員会は、査読結果に基づき、投稿論文の掲載の可否等について審査・決定する。

4. その他

- (1) 編集委員会は、『共生教育学研究』の編集等について、この規程に定めることのほか、編集に必要な編集内規等を作成し、共生教育学分野教員会議の承認を得るものとする。
- (2) この規程の改正については、編集委員会が改正案を作成し、共生教育学分野教員会議の承認を得なければならない。
- (3) この規程は、平成20年3月1日から施行する。

筑波大学 共生教育学研究 第5巻

平成28年5月20日 印刷

平成28年5月31日 発行

発行 筑波大学大学院人間総合科学研究科ヒューマン・ケア科学専攻
共生教育学分野 〒305-8577 つくば市天王台1-1-1 (tel) 029-853-2999(代)

印刷所 株式会社いなもと印刷 〒300-0007 土浦市板谷6-28-8 (tel) 029-826-1221

Journal of Educational Research for Human Coexistence

Vol. 5
May 2016

CONTENTS

Changes in the Consciousness of Intergenerational Disparities in Contemporary Japan: A Comparative Analysis between 2010 and 2014 Surveys Junpei SAKURAI	1
The Effects of a Peer Support Program on Junior High School Students (2): Supportive Behavior Modification via Learning about the Concept of Support Shuko ESUMI, Ichiko SHOJI	15
On Interpreting Society through Changing Texts Tomochika OKAMOTO	27
Possible Contributions of Psychological Researches in the Development of Society and Education for Human Coexistence Masaru ARAI, Ichiko SHOJI	37
Examination of the Matter that Junior High School Students Think to be Important about a Class: Through Analysis of the Inventory Survey Saki UCHIDA, Motonari MAEDA	53